

GFVC推進官民協議会

「アフリカの経済成長と食習慣の変化」

Asia Africa Investment & Consulting (AAIC) グループ
代表パートナー
椿 進

2023 年 3 月



ご紹介

樫 進 代表パートナー



(株)ボストンコンサルティンググループ (BCG)、パートナー・マネージングダイレクターとして、ハイテク、情報通信、インターネット、メディア・コンテンツ分野において、事業戦略、M&A戦略、新事業立ち上げ、グローバル化等プロジェクトを実施。95年-96年にはサンフランシスコオフィス勤務。大手通信会社、大手携帯電話会社、大手電機メーカー、大手ハイテク部材企業、大手ゲーム会社、大手テレビ局、IT・ネット企業、消費財企業などのコンサルティングを15年にわたって経験。

2006年より上場会社代表取締役社長に就任。(株)タカラトミー、(株)竜の子プロダクション、(株)アトラス 等 などの社外取締役を歴任。

2008年に現アジア・アフリカ・インベストメント&コンサルティング (AAIC) 社を創業。代表取締役社長/代表パートナー就任

中国・東南アジア・インド・中東・アフリカなどの新興国において、新規事業育成、市場参入支援、M&Aおよびパートナー探索支援、事業転換支援など、コンサルティングと投資を通じて実施。2014年には日本初のアフリカ専用のファンドを組成。現在はアフリカ・ヘルスケア・ファンド (AHF) を運営中。

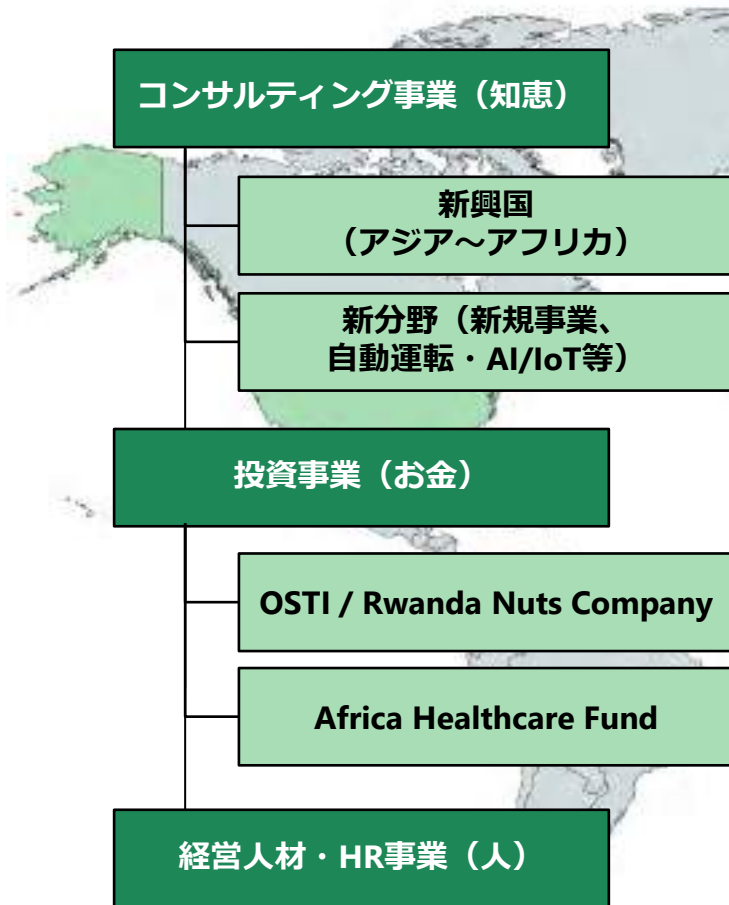
「超加速経済アフリカ: LEAPFROGで変わる未来のビジネス地図 (東洋経済新報社)」 「日本企業のグローバル戦略入門 (プレジデント社) 共著」 他執筆・講演多数

ビジネスブレークスルー大学、 ビジネスブレークスルー大学大学院
経営学研究科経営管理専攻 (MBA) 教授

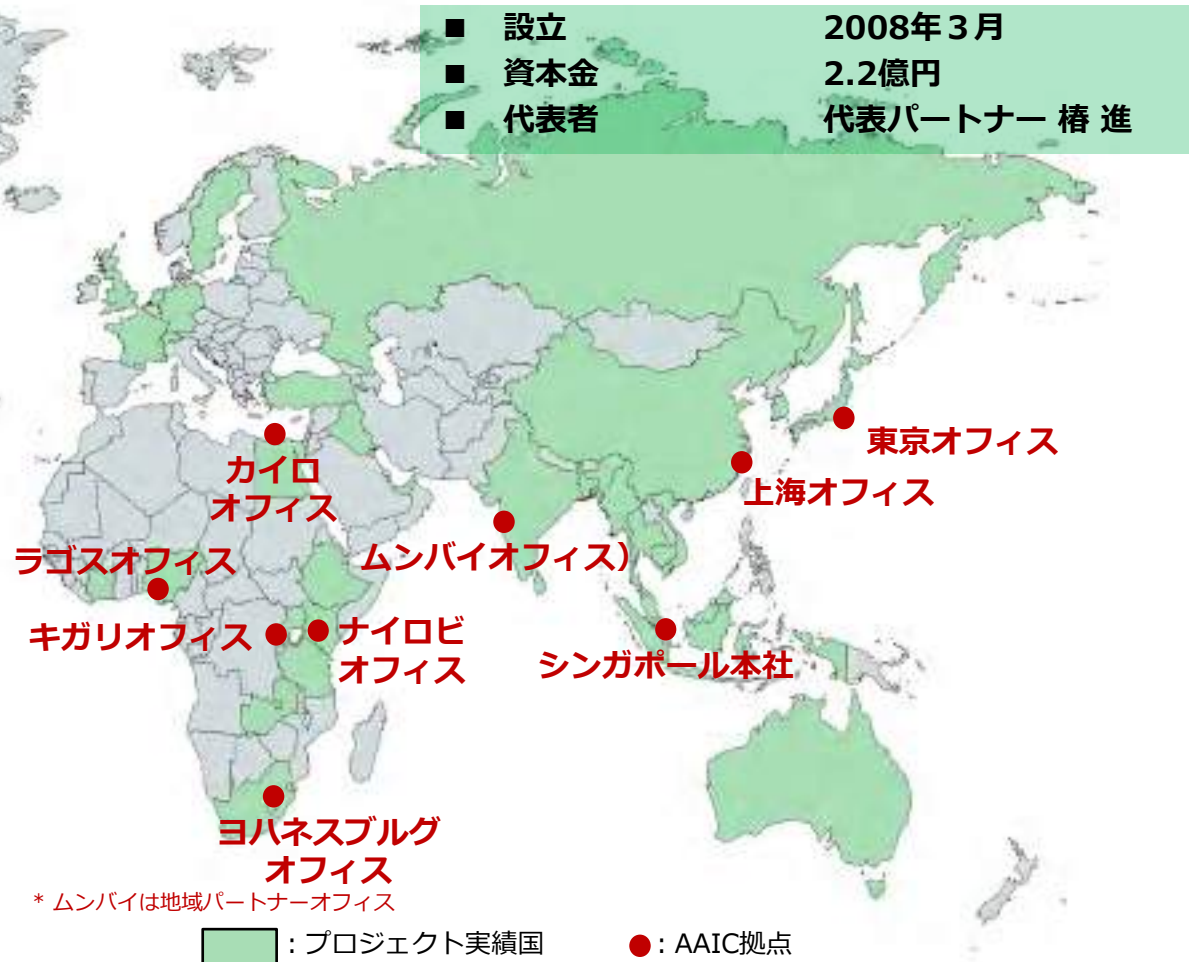
東京大学教養学部基礎科学第一学科卒

AAICの概要

事業内容



事業拠点



**ミッション 「フルコミットでの成長支援を通じて、
新興国・新分野で、新しいことに挑戦し、新しい価値を創造します」**

LEAPFROG



“人類発祥の地
「アフリカ」が
いよいよ来た!”

大前研一



現地情報×ファクトフルネスで
知識をリカレントする
新感覚ビジネスパーソンの教養書!

氏推薦! 東洋経済新報社

で変わる未来のビジネス地図

超加速経済アフリカ:
LEAPFROGで変わる
未来のビジネス地図

東洋経済新報社
2021/5/28 発売

アマゾンで「世界の経済事情」
で第1位
発売8か月で6刷



TICAD 8 Business Forum



内 容

はじめに

アフリカの経済成長と食の変化

アフリカの農の可能性

- Smart Village Project／アグリ&グリーン

日本への示唆



人口増に耐えうる新たな街を砂漠地帯を開拓して建設してきた



⑤ El Obour City – 25万人



④ El Shorouk City



⑥ 10th Ramadan City – 51万人(2018)



① Sheikh Zayed city



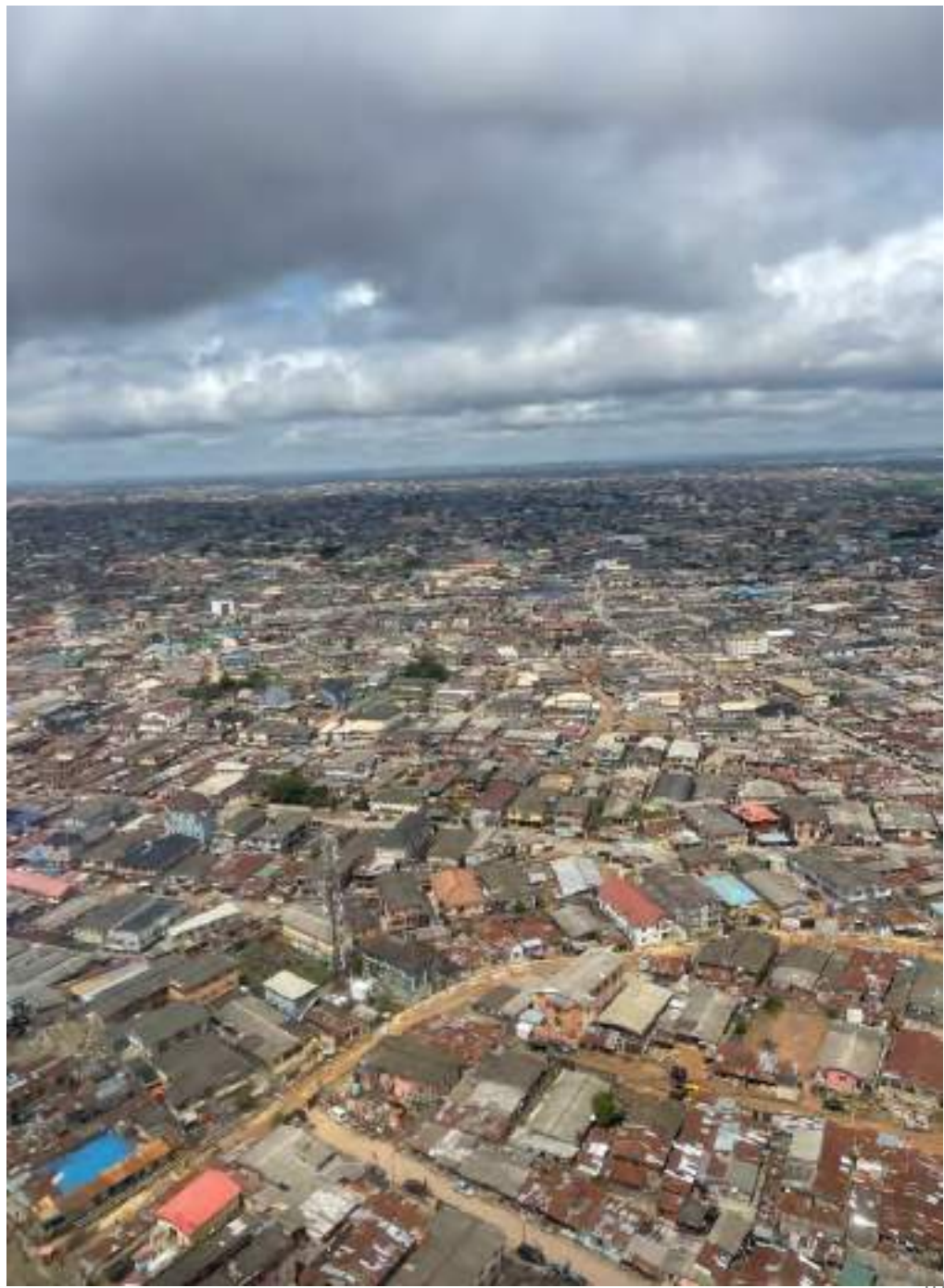
② 6th October City – 50万人(居住人口)



③ New Cairo city – 30万人















Artcaffe Nairobi 2023年









内 容

はじめに

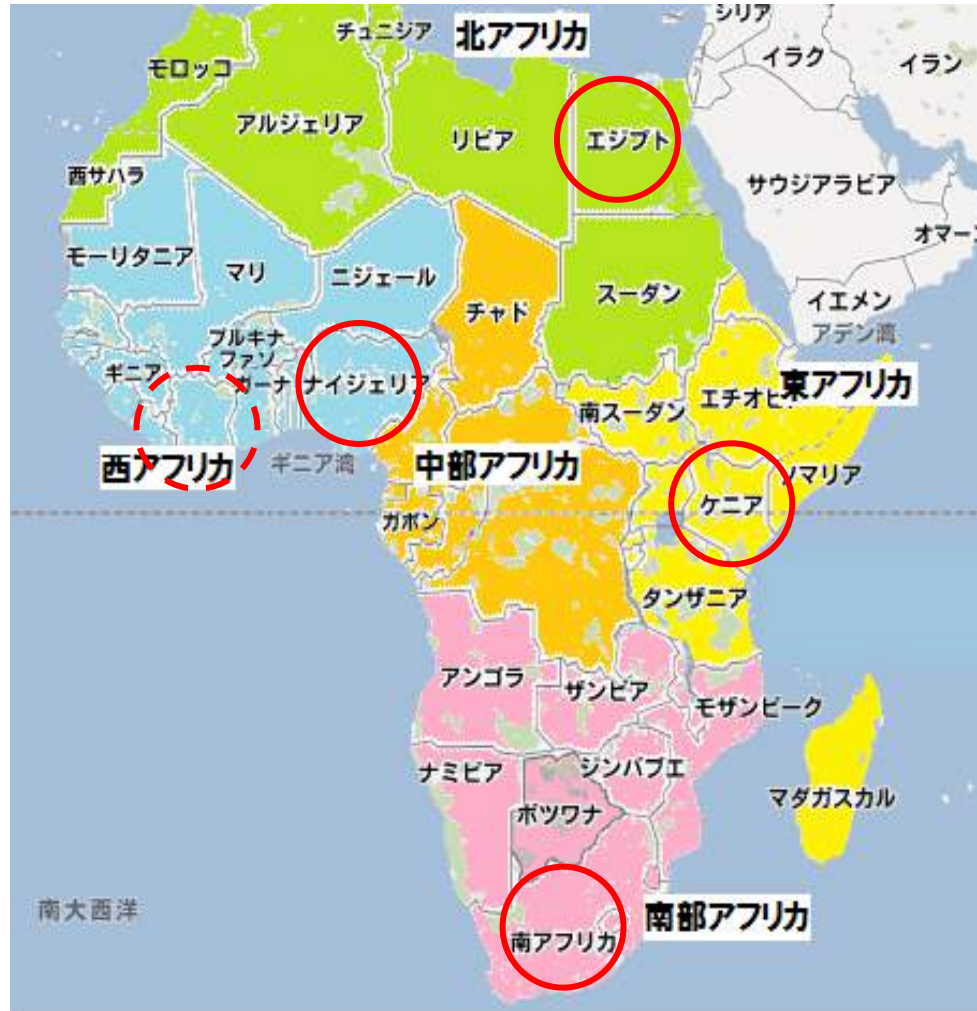
アフリカの経済成長と食の変化

アフリカの農の可能性

- Smart Village Project／アグリ&グリーン

日本への示唆

54カ国に人口13億人、面積3千万km²を有するアフリカ大陸は大きく5つの地域に分かれ、食文化も多彩



最後の成長地域

- ・ 54か国
- ・ 人口激増
10億人（2011年）
→ 35億人（2100年）
- ・ GDPが急拡大(サブサハラ)
4000億ドル（2000年）
→ 1.8兆ドル（2019年）
- ・ 政治の安定
- ・ 海外帰国組
- ・ 資源・エネルギー開発
- ・ 中国投資
- ・ 世界からの投資
など

中国ラッシュ 2003年～

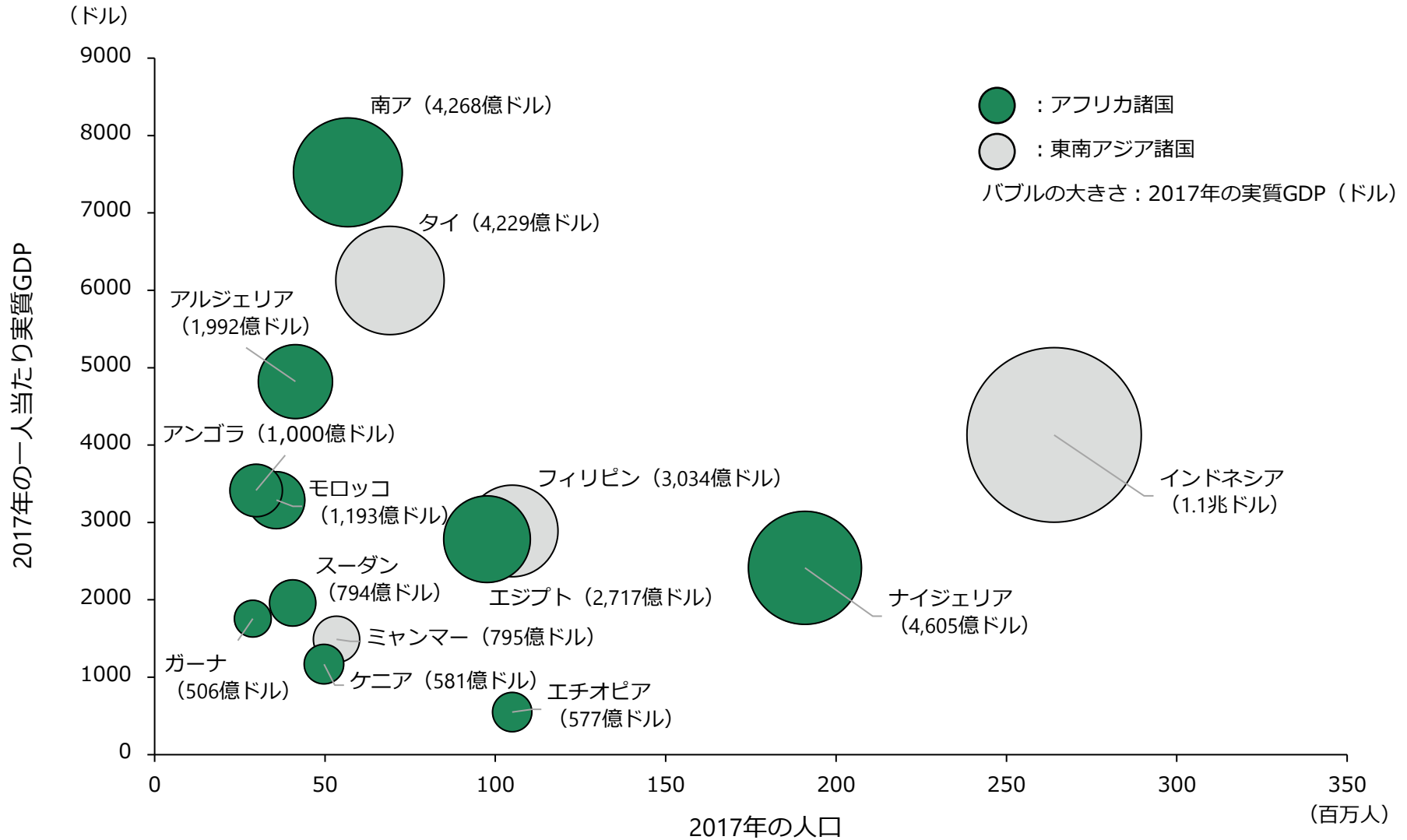
注： 為替レート 1US\$ = 100 JPYとして算出
出所： 人口 - IMF, World Economic Outlook Database April 2013
面積 - 外務省、各国・地域情勢
GDP - IMF, World Economic Outlook Database April 2013 The World Bank

アフリカは2050年に25億人になると予測されている

			アフリカ	中国	インド
人口	2017年	億人	12.6	14.2	13.4
	2050年	億人	25.3	13.7	16.6
	2100年	億人	44.7	10.3	15.2
	人口増減率 2050年/2017年	%	101	-3	24
	人口増減率 2100年/2017年	%	256	-27	13
経済	GDP成長率（2017年）	%	3.7	6.9	6.7
	一人当たり名目GDP（2017年）	ドル	1,825	8,643	1,983
IT インフラ	インターネット利用者数（2016年）	億人	1.9	7.6	3.9
	インターネット浸透率（2016年）	%	15.5	53.4	29.6
	携帯ユーザー数（契約数ベース）（2016年）	億人	9.8	13.8	11.3
	携帯ユーザー人口比率	%	80.0 →98% (2020)	97.9	85.2
在留邦人数（2017年）		千人	7.6	124.2	9.2
在留中国人数（2011年、推定）		千人	約1,100	-	N/A

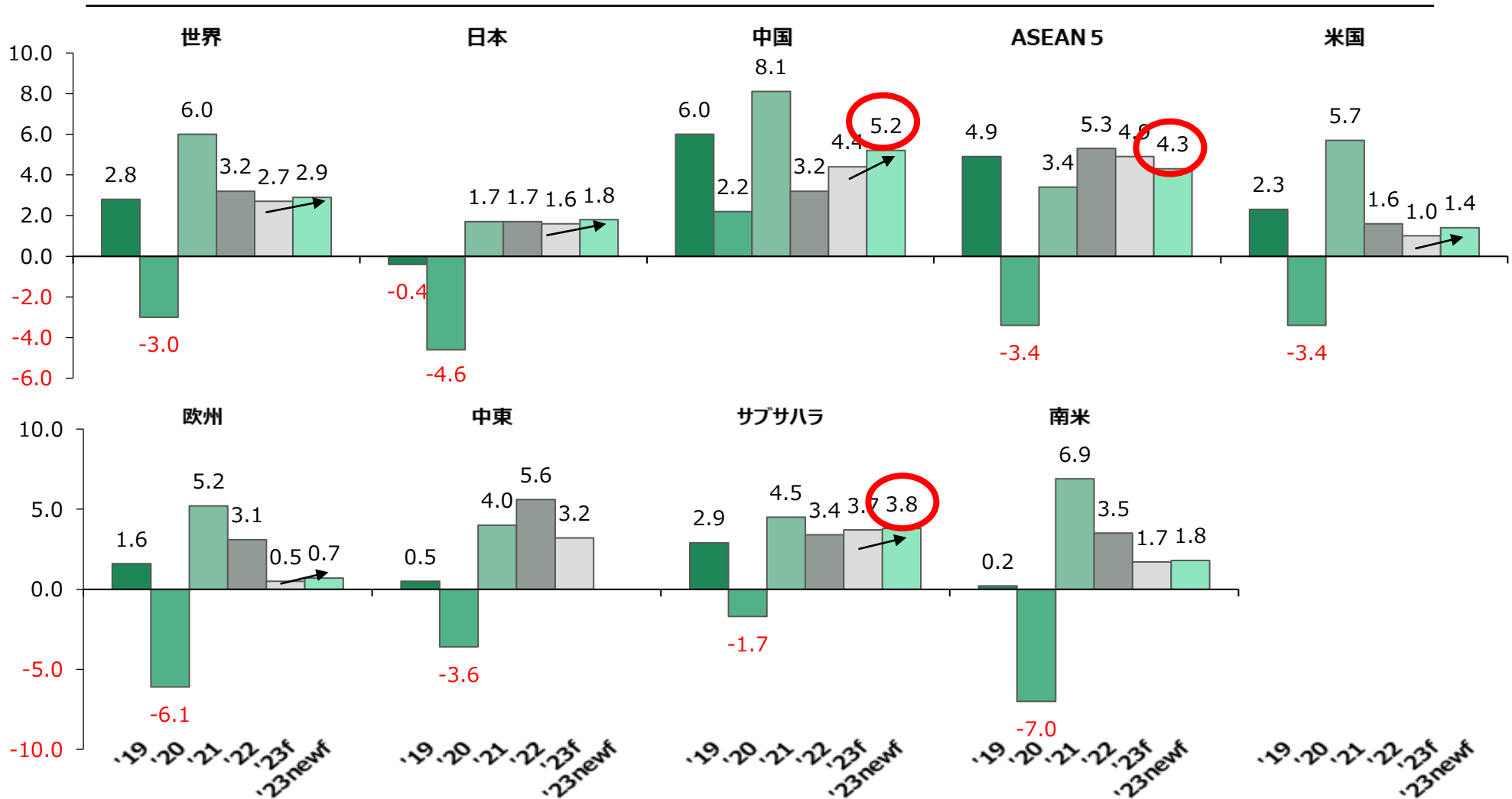
アフリカと東南アジアを比較すると、ほぼ互角の国々がならぶ

主要アフリカ諸国の一人当たり実質GDP、人口、経済規模、2017年



2023年の経済成長率予測は、世界が2.9%、米国1.4%、欧州0.7%、中国5.2%、ASEAN4.3%、サブサハラ3.8%と予測されている

世界の実質GDP成長率推移・予測、地域・国別（前年比、%）

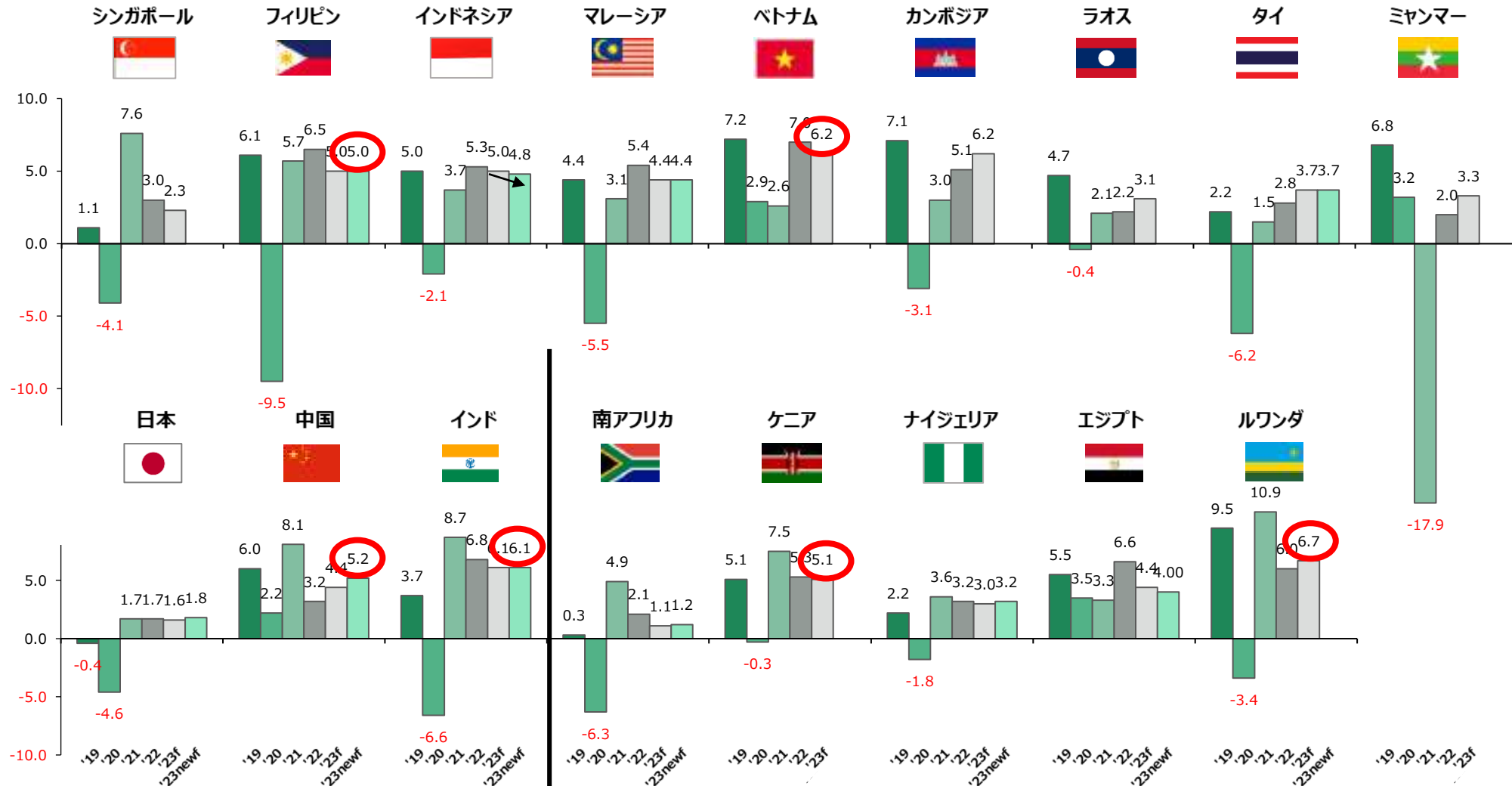


注：ASEAN5はインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国。中東は2023年1月発表なし

出所：IMF World Economic Outlook October 2022、January 2023よりAAIC作成

2022年10月予測よりプラスになったのは日本、中国、南ア、ナイジェ マイナスはインドネシア、エジプト

アジア・アフリカ主要国の実質GDP成長率推移・予測（前年比、%）

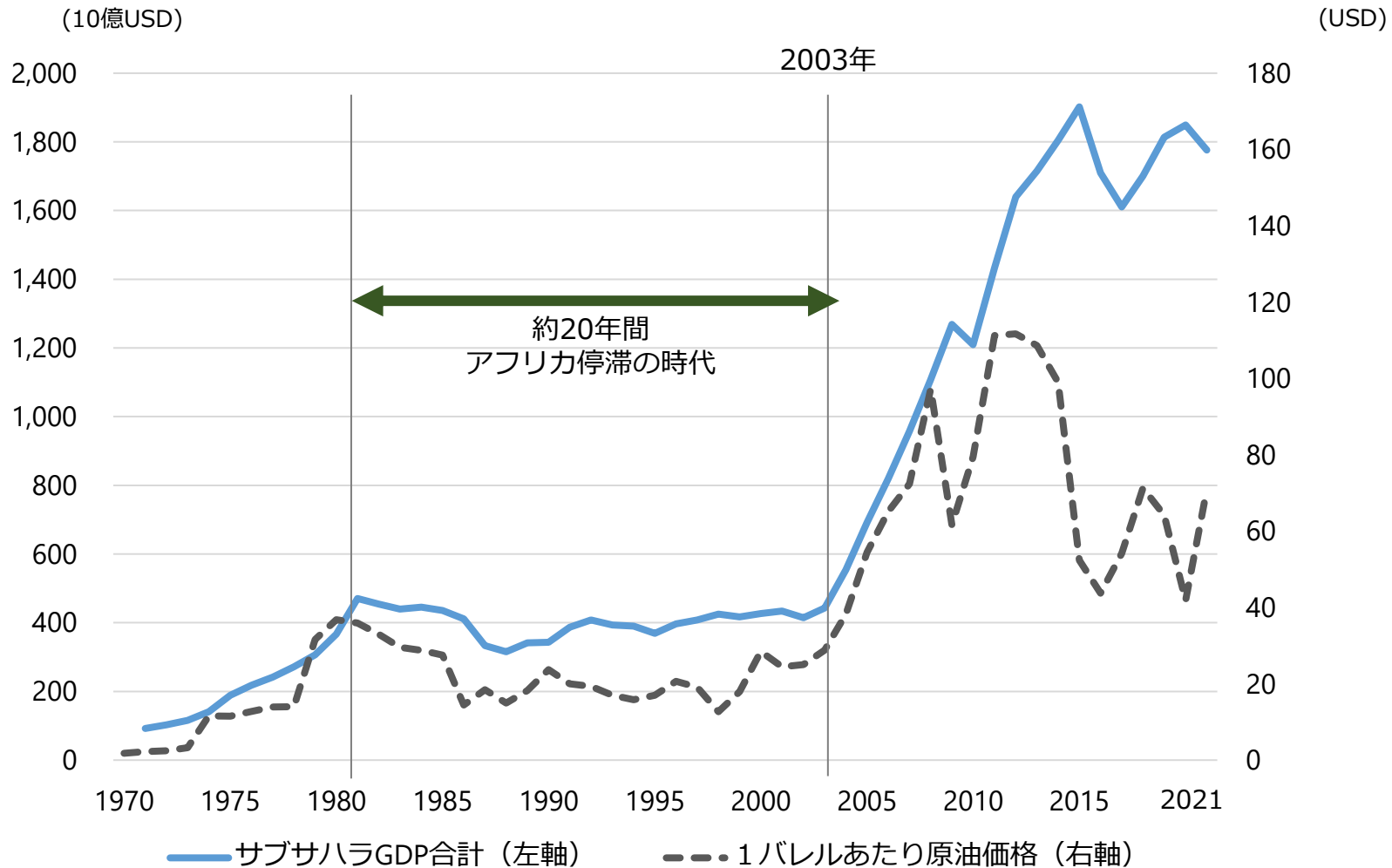


注：シンガポール、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ケニア、ルワンダは2023年1月発表なし

出所：IMF World Economic Outlook October 2022, January 2023よりAAIC作成

アフリカの成長の軌跡

サブサハラ地域GDPと原油価格推移



注：名目GDP。通貨は変動レート。1977-2021年はEuromonitor、1970-1976年はUNのデータ

原油価格は1970-1983年はRas Tanura(サウジアラビアの最大の原油積出港)の価格、1984-2021年はブレント(Brent)原油価格

出所：United Nations、Euromonitor、BP Statistical Review of World Energy

「タイムマシンマップ」

対象国・地域		2014年一人当たり名目GDP(ドル)	過去の日本でいうと	日本での主な出来事
国	都市			
1	コンゴ民主共和国	412	1959年	富士急ハイランド開業(1963年) 東京五輪(1964年)
2	エチオピア	548	1961年	
3	ウガンダ	599	1961年	
4	タンザニア	686	1962年	多摩ニュータウン発売開始(1965年)
5	セネガル	768	1963年	
6	カンボジア	1,092	1966年	
7	ミャンマー	1,104	1966年	ダイエー首都圏展開(レインボー戦略)
8	コロンビア	1,170	1966年	
9	ミャンマー	1,270	1967年	
10	コンゴ民主共和国	1,309	1967年	日本万国博覧会開催、マクドナルド1号店 すかいらーく1号店
11	ガーナ	1,353	1967年	
12	コートジボワール	1,370	1967年	
13	カメルーン	1,427	1968年	ダイエー戸塚店オープン(当時首都圏最大SC)
14	ケニア	1,461	1968年	
15	カンパラ(ウガンダ)	1,485	1968年	
16	アクラ(ガーナ)	1,499	1968年	(新築のアルミサッシ普及率がほぼ100%に)
17	インド	1,626	1969年	
18	ラオス	1,697	1969年	
19	ザンビア	1,705	1969年	7-11 一号店(豊洲) (1974年)
20	スーダン	1,985	1970年	
21	カンボジア	1,912	1970年	
22	ベトナム	1,929	1970年	自動車普及率が50%(1976年)
23	コートジボワール	2,073	1970年	
24	アビジャン	2,168	1971年	
25	アディスアベバ(エチオピア)	2,240	1971年	東京国際新空港(成田)開港(1978年)
26	コルカタ	2,259	1971年	
27	スーダン	2,538	1971年	
28	バルツーム	2,538	1971年	
29	デリー	2,736	1972年	
30	ハノイ	2,893	1972年	
31	フィリピン	2,913	1972年	
32	ヤンゴン(ミャンマー)	3,167	1972年	
33	ナイジェリア	3,336	1973年	
34	ラゴス(ナイジェリア)	3,337	1973年	
35	エジプト	3,337	1973年	
36	モロッコ	3,392	1973年	
37	ナイロビ(ケニア)	3,356	1973年	
38	インドネシア	3,404	1973年	
39	ナイジェリア	3,416	1973年	
40	ラオス	3,540	1974年	
41	ムンバイ	3,648	1974年	
42	カルカッタ	3,648	1974年	
43	チュニジア	4,467	1975年	
44	アルジェリア	4,499	1976年	
45	ベトナム	4,424	1975年	
46	チェンナイ	4,560	1975年	
47	バンガロール	4,560	1975年	
48	イラン	5,165	1976年	
49	バグダッド	5,250	1976年	
50	タイ	5,550	1977年	
51	カサブランカ(モロッコ)	5,786	1977年	
52	アルジェリア	5,886	1977年	
53	アンゴラ	6,128	1977年	
54	カイロ	6,084	1977年	
55	南アフリカ	6,354	1977年	
56	イラク	6,474	1977年	
57	ペルー	6,625	1978年	

1千ドル

2000年

中国

3千ドル

出所：内閣府「国民経済計算」、日経新聞(2012年10月27日)、IMF - World Economic Outlook Databases(2012年10月版)、AAIC分析

38	マニラ	6,719	1978年	東急ハンズ渋谷店開業(1978年)
39	ベネズエラ	6,870	1978年	
40	中国	7,572	1978年	
41	ブルガリア	7,648	1978年	渋谷109開業(1979年)
42	ボツワナ	7,750	1978年	
43	リビア	7,942	1978年	
44	ボツワナ	10,090	1983年	中央道全線開通(1982年) ディズニーランドオープン(1983年)
45	デヘラン	8,342	1978年	
46	ヨハネスブルク	9,096	1979年	
47	ルーマニア	10,161	1983年	関越道全線開通(1985年)
48	トルコ	10,518	1984年	
49	リマ(ペルー)	10,676	1984年	
50	ソフィア(ブルガリア)	10,795	1984年	六本木アークヒルズ開業(1986年) 海外旅行者500万人突破(1986年)
51	メキシコ	10,837	1984年	
52	カラカス(ベネズエラ)	10,951	1984年	
53	マレーシア	11,062	1985年	安田火災「ひまわり」購入(1987年)
54	ブラジル	11,067	1985年	
55	ブカレスト(ルーマニア)	11,271	1985年	
56	アルゼンチン	12,778	1985年	バブル
57	ハンガリー	13,154	1985年	
58	ジャカルタ	13,393	1985年	
59	ロシア	14,317	1986年	ドン・キホーテ1号店(1989年) 三菱地所「ロックフェア」買収(約2.2千億円) ペブルビーチ買収(1990年) 海外旅行者1000万人突破(1990年)
60	ポーランド	14,330	1986年	
61	チリ	14,911	1986年	
62	メキシコ	15,723	1986年	低成長
63	メキシコシティ	15,723	1986年	
64	バンコク(2014年)	15,756	1986年	
65	北京	16,121	1986年	六本木ヒルズ開業(2003年)
66	トリポリ(リビア)	16,146	1986年	
67	上海	16,585	1986年	
68	スロバキア	18,480	1987年	
69	チェコ	18,985	1987年	
70	リオデジャネイロ	19,045	1987年	
71	ワルシャワ	19,233	1987年	
72	深圳	20,000	1987年	
73	イスタンブール	20,167	1987年	
74	バンコク(2018年推定)	20,653	1987年	
75	サンティアゴ(チリ)	21,322	1987年	
76	台湾	21,572	1987年	
77	クアラルンプール	23,494	1988年	
78	アエノスアイレス	24,812	1988年	
79	サウジアラビア	25,401	1990年	
80	ブダペスト(ハンガリー)	26,266	1990年	
81	韓国	28,739	1991年	
82	サンパウロ	29,203	1991年	
83	リヤド	36,412	1993年	
84	日本	37,540	2014年	
85	香港	37,859		
86	ロシア	42,092		
87	モスクワ	42,092		
88	ドバイ	42,753		
89	ベルリン	43,832		
90	イギリス	44,141		
91	アラブ首長国連邦	44,771		
92	フランス	45,384		
93	日本(2012年)	46,896		
94	ドイツ	47,201		
95	台北	52,374		
96	アメリカ	54,678		
97	シンガポール	56,113		
98	ロンドン	56,065		
99	東京	56,466	2014年	
100	ニューヨーク	64,524		
101	パリ	70,972		
102	アブダビ	99,759		
103				

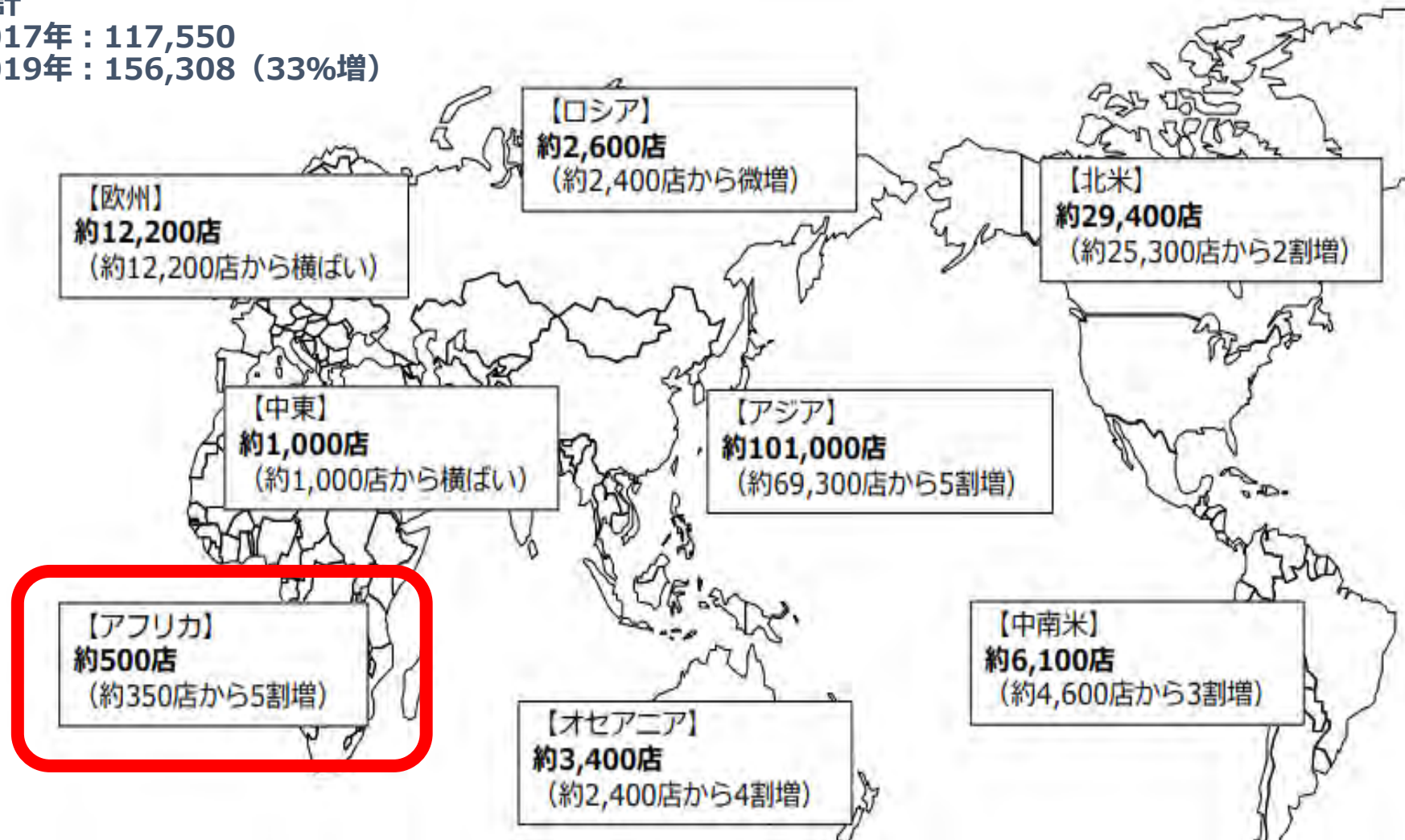
海外における日本食レストラン数、全世界で15.6万店

海外における日本食レストラン店舗数（2019年）

合計

2017年：117,550

2019年：156,308（33%増）



アフリカでも、2年で5割増しの500店舗数になる

注：カッコ内は2017年時点
出所：外務省調べ、農林水産省推計

各国主要都市にはすでに少なからず日本食レストランが存在

日本食/レストラン総数、2018年時点

	ナイロビ (ケニア)	アディスアベバ (エチオピア)	ヨハネスブルグ (南アフリカ)	ラゴス (ナイジェリア)	アビジャン (コートジ ボワール)	カイロ (エジプト)	カサブランカ (モロッコ)
							
TripAdvisor	15/480	1/236	41/1084	6/195	4/210	32/4098	44/742
Foursquare	16/90	2/23	29/90	5/90	5/27	42/90	30/90
Facebook	10	0	28	4	6	31	58



- ケープタウン（南ア）の Active Sushiの様子はまるでおしゃれなカフェのよう
- 日本食レストランとはいえ、日本人経営/調理人がいることは稀（諸外国と同様）

KFC (7店舗)



所在地 : Junction Mall, Galleria Mall and CBD- Kimathi Street & Mama Ngina, Woodvale Grove Westgate Mall Westlands, Total Limuru Road Parklands, Total Mombasa Road and Garden City Mall

トリップアドバイザー評価 : 3.5★



<hellofood出前より価格の一例>

Colonel burger combo meal (with regular chips & 500ml soda) 690シル

Full loaded box meal (1 chicken piece, 1 burger, 1 regular chips, coleslaw & 500ml soda) 900シル

Streetwise 2 (2 pieces of chicken with regular chips) 300シル

Chicken (5 piece) 950シル



Kimathi Street店舗